

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42

彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/3/25(月)

マタイ26:57-75

●イエス様はどんな理由で死に値すると言われたのだろうか？

●こっそりイエス様の後に付いて来ていたペテロと人々の問答を見てみよう。26:33で自分は決してつまづかないと言ったペテロだったけど、イエス様が言われた通り、三度イエス様を知らないと答えてしまったね。彼が激しく泣いたのはなぜだったと思う？

●今君はイエス様を誰だと告白する？ 私たちを真のイエス様の証人とさせるのは、人の力によるものではなく聖霊によることなんだ。今日、イエス様を証しする生き方が出来るように祈って出て行こう！

2024/3/26(火)

マタイ27:1-10

●イエス様が死刑に定められたユダは後悔した。彼はどんな行動をしたと書いてある？

●第二コリント7:10を読もう。後悔と悔い改めは、似ているようで全く別なものなんだ。ユダは後悔したけれど、その心は神様に向かっていなかったんだね。悔い改めとは、自らの罪を神様の前に認めて告白し、それまでの生き方を変えることを言うよ。

もし心に示されている罪があるなら、イエス様の前に告白しよう。君の罪のために十字架で死なれたイエス様を信じることで、君は赦されるんだ。そしてそこから君は新しいいのちを生きることができる！死ではなく、いのちに向かって進もう！

2024/3/27(水)

マタイ27:11-26

祭司長と律法学者たちは、死刑を宣告させるために、ピラトにイエスを引き渡した。ピラトのイエスに対する最後の尋問は「あなたはユダヤ人の王なのか」というものであり、イエスは間接的にそれを肯定した。また、祭司長や律法学者たちの告発に、イエス是一言も反論しなかった。

ピラトはユダヤ人の祭りのたびに一人の囚人を釈放することにしており、バラバかイエスかと問われた群衆は、祭司長らに説得されて、イエスを殺すことを選んだ。

私たちが正しい選択をすることができるようお祈りしよう！

2024/3/28(木)

マタイ27:27-44

今日の箇所には、イエスがあざけりののしられ、十字架につけられる様子が記されている。

夜を徹した裁判とむち打ちによってイエスはボロボロになっていた。イエスは兵士たちに引き渡され、マントを着せられ、いばらの冠を被せられ、棒を持たされ、「ユダヤ人の王万歳」とバカにした言葉を浴びせられたり、殴られたりした。(27-29)ゴルゴダの丘に行き、なおも十字架にかけられた時、通りすがりの人々にとののしられた。(39)

一切の罪のないイエスが十字架を味わったのである。それはイエスの十字架は私たちの罪の赦しのための死である。心から感謝して、神様を選び取り、生きよう！！

2024/3/29(金)

マタイ27:45-56

●「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」とはどんな意味かな？ 46v

●イエス様は罪がなかったのに天父から見捨てられる経験をされた。それは私たちのための身代わりの死だった。明後日はイースター。今日は受難日と言われる。ヤコブは「なすべき良いことを知りながらしないなら、それは罪です」と言った。思い当たることはあるかい？自分の罪を考え、それを赦してくれるイエス様を感謝しよう。

2024/3/30(土)

マタイ27:57-66

イエス様が十字架で死なれた後、アリマタヤのヨセフという弟子がイエス様の遺体を引きとって墓に葬った。イエス様が手厚く葬られることは旧約聖書に預言されていた。そして、確かに墓に葬られたことが、その後の復活の大事な舞台となったんだね。

祭司長たちとパリサイ人たちは、イエス様が死んだ後も、恐れや不安に取りつかれていた。彼らは起こり得ることに対策をとったけれど、神様がなさることに対して、人のなすことはすべて力を失うことがこの後示されるよ。

イエス様が私たちの罪のために死なれて葬られたこと、そしてよみがえられたことを静かに思い巡らそう。

2024/3/31(日)

マタイ28:1-10

今日はイースター、イエス様のよみがえりを記念する日です。十字架の死からたしかに復活されたイエス様が、私たちを永遠の滅びから、永遠のいのちへと引き上げてくださいました。

恐れはありません、御使いの言葉に従った女性たちのもとにイエス様は現れ、語りかけます。イエス様の復活は女性たちに、大きな喜びをもたらしました。

イエス様の復活は、私たちの喜びになっているのでしょうか。いま、私たちは誰を求めて、何に従うべきでしょうか。この朝と同じように、私たちがイエス様に新しく出会うことが出来ます。復活のイエス様を覚え、イエス様を求めますとお祈りしよう！！